

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

令和4年度 第4回 幹事会

開催日時

令和4年12月26日(月) 14:30~15:30

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①相談支援専門員の活動報告 ②自立支援協議会(総会)について ③長野県自立支援協議会の報告
④その他

会議で話し合われた事

① 相談支援専門員の活動報告

○就業・生活支援センター

- ・長野県短期トレーニング事業を用いた職場実習 8件(11月末現在)。
- ・令和4年11月に生活支援ワーカー人事変更。

○療育

- ・北信病院診療関係者連絡会(通称:ほっと研)では、11月26日に「学習障害について」をテーマとした研修会を開催した。講師には信州大学教育学部の高橋知音教授を招き、学習に困難さを抱える方の躰きの型や支援の重要性について学んだ。研修はZoomを用いたオンライン開催であった。
- ・北信総合病院小児科Drが、ケースの情報を家庭児童相談員や学校の先生等の支援関係者と北信総合病院のDrと連絡を取り合ったり、発達障がい児の個別ケースの支援会議に出席いただけるという事例がみられ、連携が具体化してきている。
- ・北信総合病院小児科との連携の充実や、出生時からのお子さん及び家庭フォローなどの結果として、早期にお子さんの特性受容や診断につながるケースが増えている。その反面、早期診断のメリットである障がい児福祉サービスの提供について、提供事業所の定員や相談支援専門員の不足によって、希望や必要性に合わせてサービスの提供が困難になってきている現状がある。

○安心コーディネーター

- ・80-50家族、父80代、地活利用の息子50代の二人暮らし。母はホーム入院中。50代息子に一人暮らしの体験事業を提案するが、父の「自分の身辺援助をする人がいないと困る」という理由から連泊での体験が実施できない状況。介護保険との連携が課題と思われる。
- ・令和5年2月7日13:30~認定事業所連絡会をWEBで実施予定。

○基幹相談

- ・山ノ内にある特定相談事業所みのりが3月で一旦休止のため地域の相談事業所にケース調整を行った。また高水福祉会相談員1名減になり、ケースは事業所内で分担。現在特定事業所7箇所相談支援専門員15人で北信圏域の計画相談を分担しているが、新規相談も多く相談員の調整に時間がかかるようになってきている。特に岳北地域は相談事業所が少なく現在飯山市にある特定相談事業所この葉に1名相談員がいるが最近体力の限界を訴えられている。須高地域の相談事業所にも中野市・山ノ内町の新規ケース数人を調整させていただいた。

② 自立支援協議会(総会)について

- ・令和4年10月31日開催。各部会の活動状況と県協議会に提案する課題について検討を行った。
- ・令和4年度第3回自立支援協議会は集合開催(飯山庁舎)を予定し、感染症の状況によりZoomに変更する。内容は①各部会年間活動報告 ②第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画の進捗状況 ③第2回自立支援協議会での意見交換会を受けて、の3点。
- ・第3回自立支援協議会終了後、部会長会議を開催する。

③ 長野県自立支援協議会の報告

- ・専門部会から活動状況について報告。
- ・協議会運営委員会から活動状況について報告。

④ その他